

1 **Q14** 人権尊重の視点に立った学級経営をするにはどのようなことに留意すればよいでしょうか。

5 **A** 児童生徒が、自分自身を大切に思い、自分の思いや考えをのびのびと表現できる学級にするには、まず、教職員自身が一人一人の児童生徒を尊重することはもとより、温かい雰囲気をつくり出すための環境整備（物的・人的）を行わなければなりません。

【学級の雰囲気づくりと教職員の姿勢・態度】

10 人権教育を推進していくためには、一人一人の児童生徒が、安心して生活ができ、自分の思いや考えを自由に表現できる学校や学級でなければなりません。そのためには、十分な児童生徒理解の上に立って、学級経営を行う必要があります。

15 児童生徒の活動の様子は学級の雰囲気次第でいくらでも変わります。その雰囲気を作り出すものとして一番大きなものは、教職員の姿勢・態度です。一人一人の児童生徒を尊重することが子どもへの指導の前提であることをもう一度認識しなければなりません。そして、教職員が、どんな時も一人一人の児童生徒をいつも温かく見守っているということを見守る児童生徒へ確実に伝えていくことが必要です。そのためには、児童生徒の意見をきちんと受け止めて聞く。明るく丁寧な声かけをする。日記や休憩時間の会話から、子どもの悩みや願いを把握する。一方で、間違っただけは決して許さないという毅然たる姿勢を示すことも不可欠です。人を傷つける言動があった場合には、即時に対応しなければなりません。学校内ではありませんが、特に、最近メールでの中傷が多く起こっています。そのような時に早期発見・対応ができるのは、困った時に相談に乗ってくれる教職員や友達の存在があるかどうかです。児童生徒の教職員に対する信頼関係を深めるための取組を進めていくことが大切です。

【集団づくり】

25 児童生徒間のよりよい人間関係づくりも重要です。差別のない、友達を大切にし合える、居心地の良い学級を作っていかなければなりません。例えば、友達の中に自分から入っていきずいつも孤立している子どもに対しては、周りの児童生徒がそれに気づき、自分たちの問題として捉え、解決に向かって取り組んでいくような学級の連帯感の育成をもとにした、一人一人の気持ちに立った学級経営が重要です。

【物的環境づくり】

30 学校・教室の環境整備を同時に進めていくことも欠かすことができません。いつも、整頓された、花や絵画が心を和ますような環境。また、動植物の飼育や栽培など子どもが生き物の世話を体験的にすることができるような環境。掲示板には、人権コーナーが設けられており、友達の良さや大切さについて掲示してある標語やポスターなど。さらに人と人をつなぐコミュニケーションの道具である言語の環境も大切です。

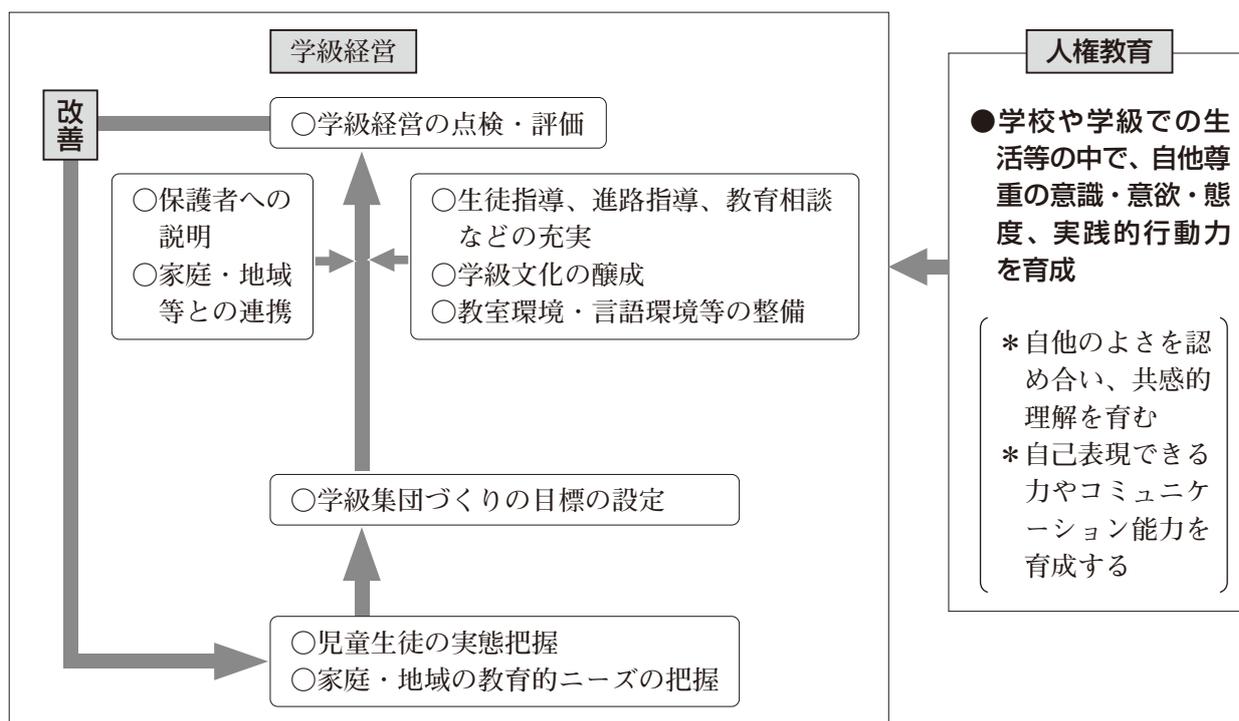
このように、学級経営を人権教育の視点から点検し、充実させることによって、児童生徒一人一人が安心して、いきいきとした学校生活を送ることができます。

35 **ふりかえり**

下記の①②の事例について、人権尊重の観点からあなたはどのように考えますか。

- ① 特定の児童生徒だけニックネームで呼ぶ。
- ② メールにひどいことを書かれたと児童生徒が訴えてきた時、保護者に解決を任せる。

参考資料 学級経営と人権教育（在り方編P15）



参考資料 人権尊重の視点に立った教室環境づくりの視点と取組例（実践編P5抜粋）

取組	内容
①人間関係を深め、安心して生活・学習ができる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前面に、学級目標（目指す子ども像）を掲示する。また、それを児童生徒の自画像で囲むなどして、一人一人の帰属感を高める。 ○ 学級組織（係）ごとのコーナーを設け、学級への願いや要望、よりよい学級生活をつくるための問題提起を行う。 ○ 「気持ちを表す言葉」、「聞き方・話し方のスキル」など、コミュニケーションを円滑にするための手がかりとなるポスターを示す。 ○ いつでも活用できるように、辞書や事典類を常備しておく。 ○ 学習の成果物（作品等）を掲示する。その際、児童生徒自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評語を添え、達成感や有用感、肯定的なセルフイメージの形成を図る。